

仙台つどいの家「すてーじ」

第1部 映像発表 / 第2部 ディスカッション

わたしたちは、一度
頭の中を真っ白にしてかんがえてみたのです

「本人中心の支援とは？」

そして 出発点を定めたのです
施設でもなく 親でもない
「あなたが本当にやりたいことはなんですか？」

本人の思いの実現・・・そこから見えてきたのは 人とひととのつながり・・・
施設が地域とつながることではなく、一人ひとりが個人名で出会い
つながっていく

つながりのなかにはコミュニケーション、そして本人の思い、
「みんな自分の思いや夢がある」
「みんな一人ひとりが違う存在」
「やりたいことは自分で決める」

わたしたちは、そんな思いの実現に向けて寄り添っていきます

そんな一つひとつの「思い」や涙と笑いの様子を映像でお贈りします

それが、それぞれの「すてーじ」

日時 平成30年12月7日 金曜日

13時00分～16時30分

会場 せんだいメディアテーク スタジオシアター

(仙台市青葉区春日町2-1 / 022-713-3171)

※昨年度と会場が異なりますのでご注意ください。

入場料 申込不要・入場無料

お問い合わせ 仙台つどいの家(山口・佐々木・鈴木)

TEL : 022-293-3751

E-Mail : sendai@tsudoinoie.or.jp

<http://www.tsudoinoie.org/sendai/>



13:00～ 開会

13:10～ 第1部 実践発表

【ゲスト発表】

「DCF とは一重度重複障害がある方が自分の力を発揮できる場所を目指してー」

社会福祉法人 武蔵野 デイセンターふれあい 柳亮一郎さん

デイセンターふれあいは東京都武蔵野市にある生活介護事業所です。30人近い利用者のほとんどは身体障害と知的障害を併せ持つ大変障害の重い方々です。私たちはこれまでも日常のさまざまな活動の中で、どのようにしたらそれぞれの方が持っている力や機能を活かせるのかを模索してきました。

今回はこのような発表の機会をお与えいただき感謝申し上げます。拙い内容ですが、当事業所での創作活動におけるとりくみの経緯をお伝えし、生き生きと地域生活を送ることができるような活動のあり方や、周囲の人たちとの連携やつながり作りの一端もご紹介できればと思います。

【すてーじ上映】

① 庄司篤史さん すてーじ 「チャレンジ!!」～未来への可能性～

自分の思いを表情や仕草で教えてくれる篤史さん。学生時代は体調不良で休むことが多かったそうです。つどいの家に通所するようになりいろいろな体験をしていく中で、今まで苦手だったことでも出来ることが増えてきました。篤史さん、次はどんなことにチャレンジしてみようか？

(作成者：仙台つどいの家 さんしょグループ 志藤悟)

② 大山ゆかりさん すてーじ 「ステップアップ～一歩ずつゆっくりと～」

工房やショップでいろいろなお仕事を日々頑張っているゆかりさん。中でもジャム作りは「自分の仕事」と思って取り組んでいます。昔は今と比べてできることが少なかったというゆかりさんがどのような経験を経て現在に至るのか、ステップアップの道のりを追いました。

(作成者：仙台つどいの家 めいぷるグループ 佐藤絵理)

③ 高橋智子さん すてーじ 「みんなで繋ぐ支援の輪」～未来に描く幸せとは～

父は、単身赴任。兄弟は県外での生活。長年母と二人暮らしを送ってきた中で、母の突然の死。今までの生活とはガラリと一変する。いろいろな人の想いが一つになり、少しずつ生活の基盤を立て直していく…。家族の状況は変わっても、智子さんを中心に、前に進もうとしている家族のカタチを追いました。

(作成者：仙台つどいの家 けやきグループ 庄子瑞穂)

15:40～ 第2部 ディスカッション

本人・作成者より、実践発表作成にあたっての思いを伝えていただき、『思いを大切にした支援』についてディスカッションします。

16:20 閉会

会場：仙台メディアテーク

スタジオシアター

※有料駐車場有

(近隣へも多数有料駐車場有)

仙台駅より徒歩、約20分

※地下鉄駅、バス停も近隣にあり。

